

コミュニティ・スクールの実施について

熊野市教育委員会

「学校運営協議会」を設置して、学校と地域・保護者がいっしょになって子どもたちの成長に向け取り組んでいる学校を「コミュニティ・スクール」といいます。

熊野市では、平成30年度に新鹿小・中学校と五郷小・中学校がコミュニティ・スクールとしての活動を始めました。そして、令和2年度から全ての学校が「コミュニティ・スクール」として活動していく予定です。そこで、各学校ではコミュニティ・スクールの実施に向けて準備を進めているところです。



コミュニティ・スクールの導入により、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につながっていくことが期待されます。

例えば、子供たちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民と共に地域課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった活動が挙げられます。

学校ごとに、地域と連携してよりより学校づくり、地域づくりに取り組ましますので、みなさまのご協力をお願いいたします。